

TICPOC D-I コース（ピアサポートワーカー研修コース）について よくお問い合わせいただくこと

<応募条件>

Q 他で勤務をしている場合、応募はできますか？

A ご応募可能です。職種や一般就労・障害者枠での就労にかかわらず、日程調整が可能であればご応募可能です。以下の「内容」をご参照の上、ご検討ください。

Q 生活保護を受給している場合、応募できますか？

A ご応募可能です。健康診断・各種ワクチン接種・東大病院までの交通費等は自己負担となります。

Q 応募の際に、他者の推薦や許可は必要ですか？

A ご自身の意思によりご応募していただけます。主治医への許可や相談等は自由です。ご応募についても推薦書や診断書は必要ありません。

<内容>

Q D-I コースの特徴・理念について、他のピアサポートワーカー養成との違いは何ですか？ 研修で目指す人材像はありますか？

A 本コースでは約1年間をかけて（主に英国・米国で体系化されている）リカバリーやピアサポートの理念を共に学び、ディスカッションを通して他者理解・自己理解を深めること、実習があることが特徴です。特定の目指す人材像はございません。その人の強みを活かしていただけるようサポートさせていただきます。医療機関での研修ではありますが障害福祉サービス分野で働きたい方も対象として含んでいます。

Q 講座・実習実施は平日ですか？ 曜日の相談はできますか？

A 講座・実習実施は平日となります。

（週1回～2週に1回、1回につき2時間程度。曜日は応相談）

2020～2022年度はオンラインで講座を実施していますが、新型コロナウイルス感染症の終息の状況によっては（講座実施時に）東大病院に来ていただくこととなります。尚、実習時期については週2～3回程度東大病院に来ていただく事となります。

それらに加え、講座受講のレポート作成や振り返りの実施等もあります。予め、研修生のご都合等を伺い、講座開催日時や実習実施日時の調整をします。但し運営都合上、主に水～金が多くなる可能性があります。

Q 遠方からのオンライン参加は可能ですか？

A オンラインによる講義については、ご参加可能です。

新型コロナウイルス感染症の終息状況によって、登院いただいた上で院内会議室での開催となります。なお、実習は東大病院に来ていただく必要があります。

Q 来年度は実習がどのくらいできそうですか？

A 現在は、規定の時間数(年間 70 時間)を目指して計画していますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況に依存します。

Q 教科書はありますか？ 予習はできますか？

A 特に教科書はありません。講座毎に資料をお配りしています。それを用いた予習・復習等は可能かと思えます。

Q ピアサポートワーカーや支援職としての実践経験があり、そこで葛藤を感じていますが、そのようなことも議論できますか？

A 講座や振り返りなどで、今までのご経験・葛藤について可能な範囲で共有いただき、参加者とお話し深め合うことができます。

<応募書類の郵送方法>

Q 郵送方法は、普通郵便でもよいですか。

可能です。応募書類がきちんと届くかについてご不安がある方は、追跡サービス(特定記録郵便、レターパックライトなど)を利用していただくことも可能です。

<合否連絡>

Q 合否はいつ頃わかりますか？

A 1次選考の合否通知の郵送時期は2月初旬を予定しています。

また、1次選考合格者のみ、日程調整の上、2次面接を実施します。

<コース修了後>

Q 雇用の斡旋等がありますか？

A 本コース終了後、雇用の斡旋はしていません。但し、求人情報等が入った場合には、お知らせすることがあります。

Q 1年間の研修終了後にブラッシュアップ等の学びの場の用意はありますか？

A 現時点でブラッシュアップの講座は設けておりませんが、修了生には翌年度以降も本コースにご参加していただくことが可能です(ご都合の良いときに任意参加)。